



平成 27 年 6 月 30 日
 カブドットコム証券株式会社
 (コード番号:8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	親会社等の議決権所有割合 (%)			親会社等が発行する株式が上場されている証券取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ	親会社	0.00	56.72	56.72	株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社名古屋証券取引所 市場第一部 ニューヨーク証券取引所 (米国)
株式会社三菱東京 UFJ銀行	親会社	44.87	0.00	44.87	なし

なお、平成 27 年 4 月 1 日付けで、三菱UFJ証券ホールディングス株式会社は、株式会社三菱東京UFJ銀行が保有する当社普通株式 67,600,000 株を取得しました。これにより、三菱UFJ証券ホールディングス株式会社が当社の親会社となり、株式会社三菱東京UFJ銀行は親会社に該当しなくなりました。資本異動後（平成 27 年 4 月 1 日現在）の親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等は以下になります。

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

名称	属性	親会社等の議決権所有割合 (%)			親会社等が発行する株式が上場されている証券取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ	親会社	0.00	56.72	56.72	株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社名古屋証券取引所 市場第一部 ニューヨーク証券取引所 (米国)
三菱UFJ証券ホール ディングス株式会 社	親会社	50.68	0.00	50.68	なし

※議決権所有割合については、小数点以下第 3 位を四捨五入しております。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

商号：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

理由：同社は、その子会社である株式会社三菱東京UFJ銀行及び三菱UFJ証券ホールディングス株式会社を通じて、当社の議決権の過半数を保有しているため。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

① 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係

(ア) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、その傘下に普通銀行、信託銀行、証券会社、カード会社等を擁する企業集団（以下、「MUFJグループ」）を形成しており、当社は、MUFJグループにおいてインターネットによるオンライン取引サービスを提供する証券会社の機能を担っております。

(イ) 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループとの関係

a. 資本關係

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、当社の株主である株式会社三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ証券ホールディングス株式会社の親会社であります。同社は当社の議決権の56.72%を間接保有しており、当社は同社の連結子会社であります。

b. 資金關係

当社と同社の間において借入金及び貸付金の残高はありません。

c. 人的關係

当社の取締役7名のうち4名が同社または同社の子会社の出身者または現職の役職員との兼務者で構成されているほか、執行役6名のうち1名が同社の子会社の出身者となっております。

(ウ) 株式会社三菱東京UFJ銀行との関係

a. 資本關係

株式会社三菱東京UFJ銀行は、当社の議決権の44.87%を保有しており、当社は同行の連結子会社であります。

b. 資金關係

平成27年3月期末において、当社は750億円の銀行からの短期及び長期借入金残高がありますが、そのうち同行からの借入金は169億円となっております。

なお、貸付金の残高はありません。

c. 人的關係

当社の取締役7名のうち4名が同行の出身者または現職の役職員との兼務者で構成されているほか、執行役6名のうち1名が同行の出身者となっております。

また、当社は同行から2名の出向者を職員として受け入れております。

② 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、MUFJグループ各社との様々な提携により、当社顧客に提供するサービス、機能の補完を行っております。なお、親会社との資本關係・人的關係から、MUFJグループの事業戦略等が当社の経営方針の決定等について一定の影響を及ぼし得る状況にありますが、事業活動を行ううえでの承認事項等の定めはありません。ただし、親会社が銀行法に基づく銀行持株会社であるため、その子会社が法令上制約されている事業について、今後の事業展開上制約を受ける場合があります。

- ③ 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社の取締役7名のうち4名が親会社または親会社の子会社の出身または現職の役職員との兼務者で構成されておりますが、取締役7名のうち5名は、委員会設置会社における執行役を兼任しない社外取締役として当社の経営の監督業務に従事しており、直接的に当社の業務執行を行っておりません。また、親会社の企業グループ外からも社外取締役2名を任用しており、利益相反等に留意した取締役会運営を行っております。

- ④ 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

以上のとおり、当社が自らの経営判断のもとに行う事業活動が阻害される状況にはなく、親会社からの一定の独立性が確保されていると認識しております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

平成27年3月期において、当社と株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループとの間の取引はありません。当社と株式会社三菱東京UFJ銀行との間には、通常の銀行取引のほか、金融商品仲介業および銀行代理業における業務提携などによる取引がありますが、その金額は営業収益35百万円、販売費・一般管理費292百万円となっております。

5. 親会社又は支配株主（親会社を除く。）を有する場合において当該親会社又は支配株主（親会社を除く。）との取引等を行なう際における少数株主の保護の方策の履行状況

- ① 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループとの取引関係

平成27年3月期において、当社と株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループとの間に取引はありません。

- ② 株式会社三菱東京UFJ銀行との取引関係

平成27年3月期において、株式会社三菱東京UFJ銀行との間に借入金、預金および外貨取引がありますが、取引条件は一般の取引と同様であります。

なお、当社は同行と金融商品仲介業務及び銀行代理業務において業務提携を行っておりますが、その取引条件については、当該業務を行うのに必要な費用等を勘案、検討の上で価格を決定しております。

以上

<お問い合わせ先>

専務執行役経営管理部長 雨宮 猛 TEL : 03-3551-5111

わたしたちはMUFGです。 